

徳島駅伝 13年ぶりの準優勝に輝く



新聞放送会館別館前 準優勝し笑顔を見せる阿南市チームの皆さん

新春の阿波路を駆ける「第66回徳島駅伝」が、1月4日から3日間にわたって16郡市の参加で開催され、阿南市チームは平成19年以来、13年ぶりの準優勝に輝きました。阿南市チームは、初日から上位争いを演じ、最終日を3位で迎えました。懸命にタスキをつなぎ4位で最終43区の國行麗生選手へ。國行選手の激走で鳴門市、板野郡チームを捉え、徳島市に続く2位となりました。解団式で田中健一監督は、「選手一人ひとりが阿南市の代表として自覚を持ち、任された区間をきっちりと走ることができた。来年に向けて、練習を積み重ねていきたい」と決意を語りました。

激走の記録



福井駅前
10区の折野僚紀選手から
11区の結城直哉選手へ



津乃峰地区防災公園口
12区の小出橋平選手が
再出発



ローソン羽ノ浦中庄店前
13区の山本健介選手から
14区の山本航輝選手へ



阿波池田通運前
32区の山崎優希選手から
33区の岡崎真理子選手へ

受賞おめでとうございます

総合第2位、中学生総合第1位、小学生駅伝第2位

区間賞	選手	所属	区間	距離	備考
	児島雄一郎	選手 (羽ノ浦中学校3年)	4区	3.0km	(区間新記録)、40区・3.0km
	國行麗生	選手 (榊大塚製薬工場)	8区	12.5km	(区間新記録)
	篠原想生	選手 (那賀川中学校3年)	20区	2.6km	
	生田琉海	選手 (徳島科学技術高校3年)	21区	8.7km	
	福良郁美	選手 (榊大塚製薬工場)	22区	4.6km	
	古山育弥	選手 (鳴門高校3年)	23区	3.0km	
	秦野尋斗	選手 (阿南第一中学校3年)	26区	2.8km	

優秀競技者賞 國行麗生 選手 (榊大塚製薬工場)
児島雄一郎 選手 (羽ノ浦中学校3年)

永年出場競技者表彰 福良郁美 選手 (榊大塚製薬工場)

